

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	マイスクール@しんまち		
○保護者評価実施期間	R8年2月4日 ～ R8年3月1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	R8年2月4日 ～ R8年3月1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・集団活動も行いつつ、個人が居心地の良い空間で過ごせるよう、自由時間を充実 ・外出支援などプログラム活動の充実と固定化されない工夫	・制作、パソコン、タブレット、カードゲームなどそれぞれが好きな活動を取り組める環境を提供している。 ・平日はSST、ゲーム学習、制作、運動療育を行っており、週末や長期休みでは食育、お菓子作り、外出支援を充実させている。	・食育では、作るだけではなく育てる・収穫などの活動にも力を入れたい。企業見学を取り入れて、「働く力」や社会的ルールを身につける取り組みを増やす。 ・ご家庭でも悩みが多い衛生面や健康管理に基づいた、歯みがき指導などの実施も検討。
2	定期的な通信の配布やSNS等での活動内容や普段の様子を発信口	・新規、既存に関係なく事業所の雰囲気や取り組みを知っていただける内容にしています。□	・定型文や固定の内容にならないように、新しい発信方法や内容を盛り込んでいく必要がある。
3	色々な経験を積むことができ、心の豊かさを得ることができるよう計画を立案し実施している。□	・日頃から職員間で十分な話し合いを行い、多角的な視点で協議しています。 ・子どもたちにもわかりやすいよう、マナー・外出時のルール説明、スケジュール説明を行い、話を聞く、外出先でも楽しく活動できる、切り替えられるよう集団活動で伝えている。	・より専門性を高めるために色々な研修への参加。 ・スタッフ間でミーティングを行い、共有・振り返りを徹底

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や家族参加型の活動、地域活動が不足	・療育内容や支援といった「本人支援」に重点を置いており、家族支援に対する情報収集不足・取り組み不足	・面談や保護者会の開催を行い、より必要性のある本人支援を提供しつつ、今後は地域活動など参加していきたい
2	スタッフの研修会や勉強会への参加	・パートタイマーのスタッフが多く、研修会等への全員参加が難しい。 ・月の出勤数が少ないスタッフとの情報交換が難しい。	・社内研修資料の充実化、動画視聴できる工夫などで全員が共通の認識・レベルまで向上させる体制を整えていく。 ・日々のミーティングが最も重要な研修にも繋がるため、職員間で意見の出し合える環境をより構築していく。
3	専門職による支援と共有	・作業療法士・言語聴覚士・心理的支援など専門職による直接支援が望まれるが、現段階ではあまり確保ができていない。	・業務委託などを検討し、支援の質の向上を図る。 ・本人支援もしつつ、職員の質の向上も図る。